

佐渡市小学校教育研究会理科部の活動報告

1 活動の方針

- (1) 授業研究や参画型の協議会を通して、部員一人一人の授業力向上を目指す。
- (2) 理科教育センターと連携した科学作品展等の実施を通して、理科好きな児童の育成を目指す。

2 活動の概要

- (1) 子どものための科学祭り
 - ① 期 日 9月19日(土)～20日(日)
 - ② 会 場 アミューズメント佐渡
 - ③ 内 容 科学作品展と作品審査
- (2) 科学研究発表会審査
 - ① 期 日 10月7日(水)
 - ② 会 場 佐渡中央会館
 - ③ 内 容 科学研究審査
- (3) 授業研究事前検討会
 - ① 期 日 10月20日(火)
 - ② 会 場 理科教育センター
 - ③ 内 容 授業研究会指導案について、事前検討会を理科センターとの共催で行った。

(4) 授業研究会

- ① 日 時 11月18日(水)
13時50分～16時30分
- ② 会 場 加茂小学校 理科室
- ③ 授業者 佐藤 光
- ④ 指導者 新穂小学校
教頭 若狭 陽一 様
- ⑤ 内 容



意欲的に学ぶ子どもたち

6年生「水溶液の性質」の授業が行われた。6年生「水溶液の性質」の授業が行われた。塩酸に鉄を入れて溶かし、蒸発させた後に残る粉は鉄かどうかを予想し、実験によって確かめる学習であった。

子どもたちは、鉄かどうかという課題に対して、初めは意見が半々に分かれた。しかし、粉を塩酸に溶かして反応を見る実験を通して、ほとんどの子が鉄ではないと考えた。その後、磁石を近づけたり、電極につないだりすることで、鉄ではないという考えに確信を持っていった。

授業後のグループ毎の協議では、以下のような意見が出された。

- ・課題提示の流れが良かった。前時のふり返りや既習事項の想起が効果的だった。
 - ・塩化鉄を取り出す実験は、演示ではなく全員にさせた方がよい。
 - ・ワークシートによって、子どもたちは自分の立場をはっきりさせることができた。
- 若狭教頭先生からは、以下のようにご指導をいただいた。
- ・二者択一など思考を限定できるように発問を吟味すると学び合いにつながる。
 - ・間接性の原理をふまえた発問や活動をすると子どもの中に知識として定着する。
 - ・子どもの心的状況（ゆれや問い）を大切にすることで実感を伴った学びとなる。